

福祉科2年生 社会福祉コース

令和元年度 介護実習スタート

大垣桜高校福祉科は介護福祉士養成校です。社会福祉コースを選択した生徒は、在学中の3年間で57日間の諸施設での介護実習が課せられています。

そこで、5月14日(火)から福祉科2年生社会福祉コースの33名が特別養護老人ホームや介護老人保健施設での介護実習をスタートさせました。

基本はコミュニケーションから



まずは自己紹介をして、利用者に挨拶します！
「大垣桜高校の〇〇です。よろしくお願いします」

利用者の方から趣味や特技の話の話を聞きました。傾聴する姿勢が大切になってきます！



食事介助&おやつ介助



利用者の方に話をしながら食事を勧めます。



水分補給も大切です。利用者の状態を確認しながら水分を摂ってもらいます。



一口の大きさや量を考えて介助します。



実習終了後には、職員の方と1日の振り返りを行い、記録の記入をします！

～生徒の感想～

初日は、利用者の方とどのように関わればよいか不安と緊張でいっぱいでした。しかし、コミュニケーションを図っていくうちに、少しずつ心を開いてくださり、利用者の方の笑顔を見ることができました。基本的な介助の見学をさせていただいたり、トイレ誘導や食事介助など実際に介助させていただくこともありました。学校で学んでいる実技の授業がいかに大切であるか痛感しました。まだまだ課題はたくさんあるので、8月の2段階目の実習までに知識や技術の向上を目指していきたいです。